

新居浜工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	歴史特論
科目基礎情報						
科目番号	104231			科目区分	一般 / 選択必修	
授業形態	講義			単位の種別と単位数	学修単位: 2	
開設学科	生物応用化学科			対象学年	5	
開設期	前期			週時間数	2	
教科書/教材	配布プリント等。参考図書：佐伯徳哉『出雲の中世―地域と国家のはざまー』吉川弘文館　2017年。					
担当教員	佐伯 徳哉					
到達目標						
1古文書・古絵図・考古資料や科学的なデータを総合的に組み合わせ・分析し、歴史を再構成して論じることができる。 2これまで学習してきた日本史上の通説的な常識に疑問を持ち、考え直して論じることができる。						
ルーブリック						
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1		古文書・古絵図・考古資料・科学データ等を相互に関連づけながら歴史を再構成し文章で説明できる。		古文書・古絵図・考古資料・科学データの歴史再構成における意味や役割を説明できる。		古文書・古絵図・考古資料・科学データの意味内容が理解・説明できない。
評価項目2		日本古代・中世体制史上の論点をおさえ、その問題点を指摘でき、文章で説明できる。		日本古代・中世体制史上の論点をおさえ、文章で説明できる。		日本古代・中世体制史上の論点をおさえられない。
評価項目3						
学科の到達目標項目との関係						
教養 (D)						
教育方法等						
概要	日本の主要な神社のひとつである出雲大社の古代から中世の巨大神殿造営・遷宮体制の変遷を史料に即して解明することを通じて、古代から中世の国家体制の変化を考える。これを通じて、日本古代・中世の体制史の主要問題について再考する。					
授業の進め方・方法	講義形式ですが、史料の分析をしながら、学生諸君に考察をしてもらう双方向の授業です。また、講義内容をもとに建築物の想定復元をして作図作業をしてもらいます。					
注意点	歴史好きな諸君に受講してもらいたいと思います。歴史2で勉強した古代から中世の歴史をおさらいしておいてください。					
本科目の区分						
授業の属性・履修上の区分						
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☒ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス～授業の目的と内容～			
		2週	現在の出雲大社境内と出雲大社境内遺跡発掘調査情報から考える		古文書・古絵図・考古資料・科学データ等を相互に関連づけながら歴史を再構成し文章で説明できる。	
		3週	鎌倉時代の巨大神殿の想定復元図を描く（作業）		古文書・古絵図・考古資料・科学データ等を相互に関連づけながら歴史を再構成し文章で説明できる。	
		4週	鎌倉時代の巨大神殿の想定復元図を描く（考察）		古文書・古絵図・考古資料・科学データ等を相互に関連づけながら歴史を再構成し文章で説明できる。	
		5週	古代の文献に見える出雲大社		古文書・古絵図・考古資料・科学データ等を相互に関連づけながら歴史を再構成し文章で説明できる。	
		6週	摂関政治時代の体制と出雲大社顛倒詐称事件		古文書・古絵図・考古資料・科学データ等を相互に関連づけながら歴史を再構成し文章で説明できる。日本古代・中世体制史上の論点をおさえ、その問題点を指摘でき、文章で説明できる。	
		7週	中間試験期間			
		8週	院政時代の体制と出雲大社の造営・遷宮（1）		古文書・古絵図・考古資料・科学データ等を相互に関連づけながら歴史を再構成し文章で説明できる。日本古代・中世体制史上の論点をおさえ、その問題点を指摘でき、文章で説明できる。	
	2ndQ	9週	院政時代の体制と出雲大社の造営・遷宮（2）		古文書・古絵図・考古資料・科学データ等を相互に関連づけながら歴史を再構成し文章で説明できる。日本古代・中世体制史上の論点をおさえ、その問題点を指摘でき、文章で説明できる。	
		10週	平氏政権から鎌倉幕府成立期の体制と出雲大社の造営		古文書・古絵図・考古資料・科学データ等を相互に関連づけながら歴史を再構成し文章で説明できる。日本古代・中世体制史上の論点をおさえ、その問題点を指摘でき、文章で説明できる。	
		11週	鎌倉時代の政治史と出雲大社の造営・遷宮		古文書・古絵図・考古資料・科学データ等を相互に関連づけながら歴史を再構成し文章で説明できる。日本古代・中世体制史上の論点をおさえ、その問題点を指摘でき、文章で説明できる。	
		12週	鎌倉時代後期の出雲大社造営と鎌倉幕府体制の変容（1）		古文書・古絵図・考古資料・科学データ等を相互に関連づけながら歴史を再構成し文章で説明できる。日本古代・中世体制史上の論点をおさえ、その問題点を指摘でき、文章で説明できる。	

		13週	鎌倉時代後期の出雲大社造営と鎌倉幕府体制の変容（2）	古文書・古絵図・考古資料・科学データ等を相互に関連づけながら歴史を再構成し文章で説明できる。日本古代・中世体制史上の論点をおさえ、その問題点を指摘でき、文章で説明できる。
		14週	南北朝の動乱と出雲大社一後醍醐天皇の論旨を読むー	古文書・古絵図・考古資料・科学データ等を相互に関連づけながら歴史を再構成し文章で説明できる。
		15週	期末試験	古文書・古絵図・考古資料・科学データ等を相互に関連づけながら歴史を再構成し文章で説明できる。
		16週	試験返却	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	試験	発表・提出物	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	20	0	10	0	0	100
基礎的能力	70	20	0	10	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0